

NPO 法人 日本バスケットボール振興会

会報：バスケットボールプラザ 2021年9月 No.91 より転載

筆者：羽佐田恭正先輩 昭和28年(1953)高等科・昭和32年(1957)大学卒

さようなら 従野先生

当会・元副理事長 従野明宏先生が令和3年(2021)8月18日にお亡くなりになりました。享年88歳。心からお悔やみ申し上げます。

従野先生は岡山県立朝日高校から、東京教育大学(現 筑波大学)体育学部健康学科に進まれ、日本代表選手の故糸山隆司さんとは同級で、4年生の時にオールジャパンで優勝されました。卒業した昭和30年(1955)に学習院高等科の教諭になりました。

学習院大学籠球部の男子の監督・コーチは卒業生に限られていましたので、昭和30年に大学女子のコーチに就任され、翌々年から監督で36年まで続けられました。その間、関東女子学生の2部から1部に昇格の指揮を執られました。

また、本拠の高等科は30年から部長として平成14年(2002)まで勤められました。特筆すべきは昭和40年(1965)と41年に東京都の代表として、長崎と秋田と2年続けてインターハイに出場出来たことです。平成9年(1997)から14年まで中等科・高等科の科長に就任、その間、3,200人の卒業生を送り出されました。

昭和40年(1965)の日本勧業銀行時代から58年までの第一勧業銀行・女子、昭和58年(1983)から62年に日本航空・女子のコーチも務められました。

更に、ナショナルチームの監督・コーチも任命されました。

振興会に入会され、毎月の歴史部会に出席され、会全体の副理事長も務められました。

最初の大学女子のコーチに始まって、女子の指導に専念されました。理路整然と説明され、大きな声を出したりなされないのが、女性の指導は打って付けでした。

羽佐田恭正